

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 合同部活動の推進に向けた実証事業 成果報告書（概要）

栃木県那珂川町

●地域における現状・課題

- (1) 本町には、公立中学校が2校あり、今後、馬頭中学校においては生徒数の減少傾向が見られ、小川中学校においては微増傾向が見られる。ただ、本年度までの生徒数減少が顕著であるため、今後大幅な生徒数増加は見込めないところである。
- (2) 馬頭中学校には9つの運動部及び2つの文化部、小川中学校には8つの運動部が設置されている。一部の団体競技については、部員数不足により合同チームを編成して大会に臨んでいる現状にある。

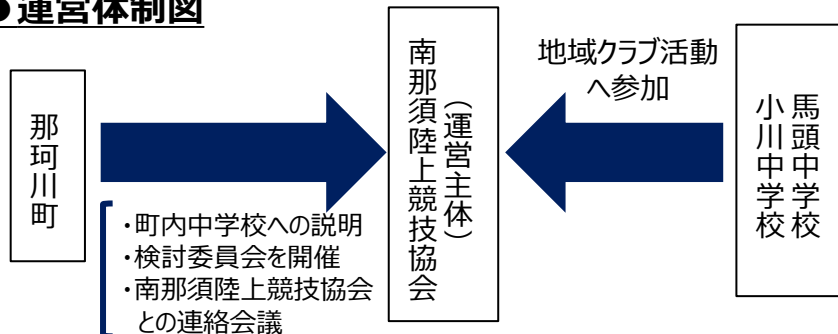
●取組事項の概要

- (1) 令和5年5月に中学校の部活動に関する在り方検討準備委員会を開催し、町内2中学校に陸上競技部を常設部として設置すること、休日における合同部活動として陸上競技部を指定し、南那須陸上競技協会と連携を図りながら活動を行っていくこととした。
そのため、毎週日曜日に合同部活動として、南那須陸上競技協会の指導者による指導の下、活動を行った。
- (2) 那珂川町内中学校の生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点から、部活動の地域移行に向けた課題に総合的に取り組むため、学識経験者等を委員とした「那珂川町における中学校の部活動に関する在り方検討委員会」を設置した。

●取組の成果等

- (1) 合同部活動に参加している中学生への聞き取り調査では、合同部活動により学校の教員以外の指導者から専門的な指導が受けられたり、他校の優秀な選手と一緒に練習ができることでレベルアップに繋がったりするよさが挙げられた。一方で不安なこととして、平日と休日で指導方法が変わることなどが挙げられた。
- (2) 検討委員会において、町内全ての小4～中2までの児童生徒及びその保護者に、中学校におけるこれからの休日の部活動に関するアンケートを実施した。特に、保護者アンケートでは、今後、少子化の影響で各学校での部活動運営が難しくなった場合、部活動の存続に向けた対応について最も多かったのが「町内2中学校が合同部活動として部活動を行う」との回答だった。今後、少子化が進んだ場合には、合同部活動に対する必要性は益々高まることが想定される。
- (3) 検討委員会の協議において、各中学校の部活動顧問からは、休日の部活動が地域移行され合同部活動が行われることにより、教員の業務負担の軽減が図られること、未来を担う子どもたちを地域で育てられることなどの意見が出された。

●運営体制図



●合同部活動の概要

- (1) 運営主体：南那須陸上競技協会
- (2) 種目：陸上競技
- (3) 指導者の主な属性：南那須陸上競技協会に登録している指導者
- (4) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- (5) 主な活動場所：烏山高等学校金井キャンパスグラウンド
- (6) 主な移動手段：保護者送迎
- (7) 1人あたりの参加会費（年額）：1,000円/年
- (8) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者800円